

## 2024年度 保育所の自己評価について

### 1. 本園の保育方針と保育目標

新杉田のびのび保育園

●本園では子ども一人一人と丁寧に向き合い、子ども達の要求や願いを大事に受け止めていきたいと考えています。子どもが安心して保育園生活を送るためには、職員との信頼関係が欠かせません。愛情をたくさん注がれ常に自分が大事にされていることを実感できる保育を心がけています。

#### ●保育目標

1) 健康な子ども 2) なんでもやってみたいと思える子ども 3) なかまと一緒に考え力を合わせる子ども

### 2. 園としての今年度の課題

●保育の質の維持向上を図ります。

●人材確保、人材の定着、人材育成に取り組みます。

●保護者の方と良い関係づくりに努めます。

### 3. 2の課題にどのように取り組んだのか？

#### ●保育の質の維持向上

①のびのび保育園の保育が見えるよう、今年度もドキュメンテーション等を用いて各年齢の子ども達の日常の姿や楽しんでいる様子、トラブルなどありのままの姿を保護者の皆さんに知って頂くことが出来ました。保育士にとっても、保護者の皆さんに今の姿を保育を知って頂く事が出来ました。

②職員同士（各クラス・係など）ミーティングを行い、今の子ども達は何を「やってみたい」のか等話し合い、保育を行いました。子どもからの発信や楽しんでいる姿から職員は子ども達に何を体験させてあげたいのか、又、職員が子どもとどんなことがやってみたいのか、職員の「やってみたい」も実現できるよう話し合いを心掛けました。

③保育所給食での窒息事故などの報道を受け、現役消防士より物を詰ませた時の対応や練習用のAEDを使用し園内研修を行いました。実際に職員同士で実践し合った事で、力の入れ方など知ることが出来良い研修となりました。また、毎年行っているプール活動前の救急法や嘔吐や下痢の対応の研修も行い、感染症予防対策や安全に活動をする事が出来ました。

④経験年数に合わせ、キャリアアップ研修を多くの職員が受け学びました。それ以外にも沢山の園外研修に参加し、子ども達の姿に合わせ学んだ事を取り入れ子ども達は新しい経験が出来るよう提案実践しました。良いと思う事をのびのび保育園の活動に取り入れた事は子ども達にとって、楽しさが広がったと感じています。

⑤給食についても、給食試食会やレシピ展示、給食だより等で保育園で大切にしていることを保護者へ伝えながら、保育士と協力し子ども達と一緒に活動することで、食べる事が「たのしい」と感じてもらえる経験を調理と職員で考え行ってきました。

#### ●人材確保、人材の定着、人材育成

①様々な研修に参加する事で個人のスキルアップに繋がりましたが、園全体の学びには繋がっていないと感じています。次は個人の学びが園全体に広がる様、会議で学んだ事を発表する場所と作るなど考えています。

②職員同士の話し合い（各クラス・職員会議・行事・乳児・幼児・給食委員会等）を園長・主任も参加し、子ども達の状況やクラスの課題、改善等を把握し一緒に考え保育を行いました。又、職員同士お互いに声を掛け合い、コミュニケーションをとる事で困ったことや分からない事が解消され、子ども達にとって安心安全な環境の中で、保育をすることが出来、人材の定着にも繋がっています。

③毎年沢山の実習生が実習に来ています。自分たちが実習生だった事を振り返り、次世代の保育士にもサポートを心掛けました。

#### ●保護者と良い関係づくり

①送迎時にその日にあった子どもの姿をお話する事や、クラスだより園だより、給食だより各行事だよりで保育園の大切にしている事や、子ども達の姿をお伝えしてきました。行事では実際に成長した子どもの姿を、保護者の皆さんと職員で共有できた事はとてもうれしい事でした。

②保護者の皆さんが安心して子どもを預けられるよう、挨拶や日ごろのコミュニケーション、ドキュメンテーションや子どもの姿を共有するなど保護者の皆さんの立場に立って考えることも意識してきました。信頼関係を築くためにも、連絡事項に漏れないように職員同士気をつけています。

### 4. 次年度の課題や改善点について

●保育の質の維持向上

●人材育成・定着・確保

●保護者との関係づくり

●保育の共有